

SHIRAKOBATO

しらこぼと



SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

1989.5

WILD BIRD



NO.60

日本野鳥の会 埼玉県支部

奥日光 ～戦場ヶ原周辺～

時にはホームグラウンドをはなれて、小さな旅してみませんか。奥日光は、いかがでしょう。戦場ヶ原をはじめ、切込湖・刈込湖、光徳周辺、菅沼から奥白根山など、コースはさまざま、鳥の種類もバラエティに富んだ、百点満点の探鳥地です。どのコースも楽しいけれど、初めての方には、戦場ヶ原をおすすめします。遊歩道が整備されていますので、どなたでも安心して歩けます。まずは初夏に、お気に召したら、晩秋にもう一度、訪ねてみて下さい。これからの季節には、支部の探鳥会も行なわれています。

スミの花咲く頃(6月～7月上旬)

キビタキ、コルリ、コマドリ—容姿端麗、歌唱力バツグン、天に二物を与えられた夏のアイドルたち。ミソサザイ、ウグイス、それにムシクイ類—姿は地味でも、のどは自慢の実力派。彼等は、初夏の戦場ヶ原で、大ジョイント・コンサートを開きます。ステージを飾るズミの花は、サクラによく似て、ほんのり淡いピンク色。レンゲツツジが華やかさを添えて、さあ、幕が上がります。

湯滝入口でバスを降り、坂道を下って滝壺へ。小さいながらも、なかなかの迫力で水煙を上げる湯滝。見ごたえ充分だけれど、観光客が多くて、どうも落ち着きません。滝のとどろきと、人々のざわめきを背に、湯川沿いの遊歩道を進みます。まず出迎えてくれるのは、カワガラス、キセキレイ。藪から飛び出したミソサザイは、日本最小の鳥のひとつ。そのコンパクトな体からは想像もつかない豊かな声量で、複雑なメロディを歌いあげます。

あふれるようなウグイスの囀りのなか、コマドリ、コルリの歌が近づいてきます。足を



とめ、息をひそめて、感動の一瞬を待ちましよう。左手の林では、キビタキが囀りはじめました。新緑のなかに、その姿をキャッチ。黒と黄の大胆な配色が、ひととき鮮やかです。続いて鳴き出すアカハラやエゾムシクイ、センドタイムシクイ。はるか彼方に、ツツドリ、ジュウイチの声。枝から枝へ、カラ類の混群が飛び回ります。コゲラやキバシリ、コサメビタキまで一緒になって、とても楽しそう。

そろそろお腹も空いてきました。泉門池や青木橋には、ベンチとテーブルがあるので、ゆったりとランチタイムを楽しめます。

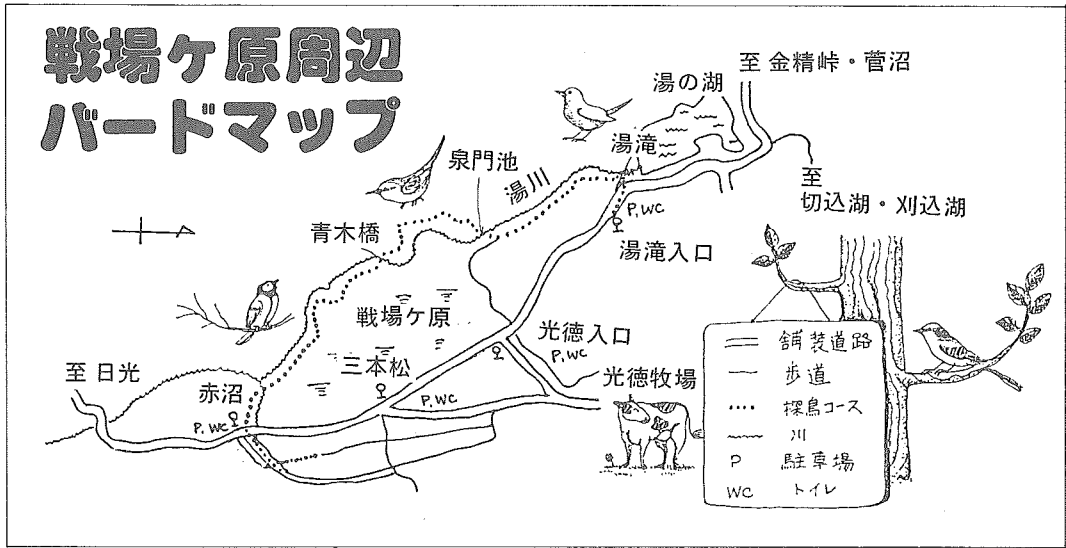
さて、午後の部。舞台は一転して、大湿原へ。ノビタキ、ホオアカ、カッコウの登場です。ワタスゲのゆれる湿原のあちらこちらで、姿と歌をたっぷり披露してくれるでしょう。時には、オオジシギのディスプレイフライトも。空を見上げれば、鋭いナイフのように飛び交うアマツバメ。ハチクマの堂々たる飛翔が見られることもあります。

フィナーレは、花盛りのズミの林で聴く、アオジやキビタキの歌。花のトンネルをぬけると、赤沼のバス停はすぐ目の前です。

枯野の誘惑(10月下旬～12月上旬)

静寂につつまれた、晩秋の戦場ヶ原。聞こえるのは、裸の枝々が風にきしむ音ばかり。花の季節から紅葉の季節まで、色彩を失なうことのなかった湿原や森も、今はモノクロームの世界。荒涼とした風景には、不気味ささえ感じられます。が、なぜか気になるこの季節。不思議な魅力に誘われて、毎年のように訪ねたくなる—そんな魔法の荒野を、ちょっ

戦場ヶ原周辺 バードマップ



とのぞいてみませんか。

まず、赤沼周辺の畑地に寄り道します。このあたり、実は、知る人ぞ知る珍鳥ポイント。シラガホオジロやオオモズの記録があります。丹念に歩けば、思いがけない発見があるかもしれません。珍鳥よりも、普通種をたくさん見るほうが良いという方は、ベニマシコに会いさつしたら、ここを早めに切り上げて、戦場ヶ原へ。赤沼から湯滝めざして歩きます。

遊歩道をしばらく行くうちに、すべてが枯れはてたようなこの季節にも、意外に鳥が多いことに気づかれるでしょう。いつも元気なカラ軍団—コガラ、ヒガラにシジュウカラ。すばしいキバシリ。エナガ、ゴジュウカラもよく見られます。ツグミの群れに出会ったら、一羽一羽をチェック。ハチジョウツグミやマミチャジナイがいるかもしれません。

昼休みは青木橋で。お弁当を広げていると、ゴジュウカラやコガラが、近くまで寄ってきます。ここから少し先の森林の入り口は、ポイントのひとつ。コメツガの枝先にたわむれるキクイタダキ。残り少なくなった木の実を求めて、マヒワやアトリの群れも集まります。キツキの仲間も多く、オオアカゲラに会えることもあります。

遊歩道は、マガモやヒドリガモの浮かぶ泉門池を過ぎて、湯川の流れに出ます。この辺に多いのは、カワガラスやミンソザイ。川岸

の岩や倒木の上などを探してみましよう。

湯滝から、急な石段を登って湯の湖へ。息をはずませて登りつくと、湿原や森、周囲の山々の大展望が広がります。湯の湖のほりでは、水鳥の観察。カイツブリ類、カモ類など、5～6種類が見られるでしょう。

夕闇せまる頃、日光駅行きのバスを待ちながら、また来年も来ようかな、なんて思い始めていたら、あなたはもう、戦場ヶ原の魔法のとりこ。この魔法、もしかしたら永遠にとけないかもしれませんよ。

アドバイスを一言

- 初夏は……できたら泊まりがけでどうぞ。行動範囲が広がりますし、夜、散歩がてら、フクロウやヨタカの声聴きに行くのも楽しみ。夜明けのコーラスも、聴きのがせません。
- 晩秋は……寒さがきびしく、年によっては積雪もあります。暖かなスタイルでお出かけ下さい。
- 交通は……日光駅（JR日光線）または東武日光駅（東武鉄道）から、東武バス湯元温泉行きを利用。車で行く場合は、東北自動車道宇都宮ICから日光宇都宮道路、第2いろは坂を経て現地へ。寒い時季には、路面凍結に注意。チェーンは、必ず準備して下さい。

（横山みどり）

もういくつ寝ると

バ・ー・ド・ソ・ン

◇バードソンとは何か◇

ということをご存じでしょうが、もう1度簡単にご説明しますと、

- ① 6月4日午前4時から午後4時までの12時間内に何種類の鳥が観察できるか、4人1組のチーム（全国で公式チーム25、オープンチームも多数）が競います。
 - ② そして、そのチームが観察できた種類数に応じて、予め申し込んでおいていただいた方から、寄付金をいただきます。
 - ③ 観察できた種類数、お寄せいただいた寄付金額、寄付者の数などの要素をくわえて総合順位が決まります。
 - ④ お寄せいただいた寄付金で、研究センターの活動資金のための「野鳥を科学する基金」が設立されます。
- ということで、

◇埼玉県支部では◇

熊谷駅ビル・アズ熊谷の協賛をいただいた
美しき!! 女性たちのチーム「埼玉のスイート

ポテトたち」が公式チームとして参加することは、前月号でもお知らせしたとおりです。

◇私も参加したい◇

という方大歓迎。いっしょに盛り上がっちゃいましょう。

直接参加はできないけれど…という方、どうぞスポンサーになってください。はがきか電話で、「1種〇〇円のスポンサーになります」と予め言っておいていただければ、スイートポテトたちが△△種類を観察した場合、「〇〇円×△△=□□円のご寄付をお送りください」とご連絡します。

◇シンプルなほうが好みの方◇

1種いくらなんて面倒な方、種類数にこだわらない寄付金もトーゼン受け付けます。

郵便振り替えでも現金でも、どんな形でもけっこうですから、支部事務局までお送りください。ただし、あなたのご住所・お名前とバードソンの寄付金だということの明記をお忘れなく。どうぞ協力をお願いします。



福田敏之（和光市）



押川歳子（蕨市）

新たな飛躍をめざして

日本野鳥の会埼玉県支部 支部長 今井 昌彦

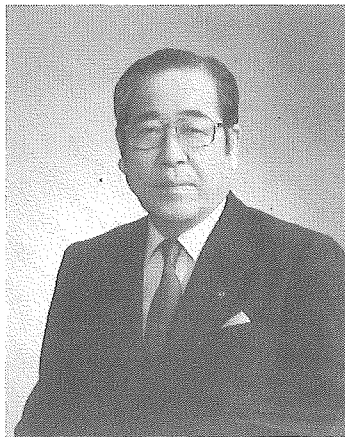
夏鳥の便りが聞かれるころとなりましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昭和59年4月に埼玉県支部が再スタートをしてから早いもので5年となりました。

10名の役員と215名の会員によって再スタートした支部の運営は決して順風満帆ではありませんでした。しかし、海老原事務局長はじめ役員の方々の御協力とたくさんの会員の方々の御支援、御協力により、多くの難問、障害を乗り越えて、今日やっと支部発展の基礎が築かれたと信じております。

今年は「全国野鳥保護のつどい」が本県で開催される記念すべき年です。

人口の急増にともない、しだいに自然が失われつつある埼玉県において、乱開発をやめさせ自然と調和のとれた県民生活の形成を願って努力している我々の活動を県民の方々に理解していただくとともに、県民の愛鳥思想自然保護活動への関心を高めていただく良はみ出し行事あない



い機会と考えております。

より多くの種類の野鳥の住む環境は、私たち県民の生活にとっても良い環境であるということに常に忘れずに、これからも埼玉の自然を守る地道な活動を県民とともに続けていきたいと思います。

両神村・両神山探鳥会 (要予約)

期日：5月28日(日)～29日(月)

集合：28日午前9時30分秩父鉄道三峰口駅前

解散：西武秩父駅前にて29日午後4時ごろ

費用：宿泊費・バス代・昼食代・通信費など6,000円ほど。当日払込み。

申込み：葉書または電話で支部事務局まで。

5月20日締切。(健脚の方にかぎる)。

担当：海老原美夫、藤原寛治

見どころ：闇の奥から神秘的呼び声。絶え間ないコノハズクの声に耳傾けながら、鳥仲間と過ごす山小屋の一夜。サンズイドリ(マ+酉=酒)もお忘れなく。

栃木県奥日光探鳥会 (要予約)

期日：6月10日(土)～11日(日)

費用：宿泊費・往復交通費など約12,000円

定員：20名程度(先着順、県支部会員優先)

申込み：葉書か電話で中島康夫(〒349-01 蓮田市馬込 〇)

まで。

担当：中島康夫、楠見邦博、横山みどり、榎本秀和

見どころ：高層湿原に初夏のコーラス。森に満ち渡るキビタキのさえずり。ノビタキやホオアカ、オールスターが勢揃い。

静岡県富士山五合目探鳥会 (要予約)

期日：7月8日(土)～9日(日)

集合：8日午前8時 新宿駅西口

帰路：9日午後4時30分ごろ新宿着の予定

費用：約14,000円(宿泊費・高速バス運賃・弁当代・保険料を含む)

定員：20名程度(先着順、県支部会員優先)

申込み：往復葉書に住所、氏名、電話番号、年齢、性別を書いて北川慎一(〒367 本庄市銀座)まで。

担当：北川慎一、草間和子、小荷田行男

見どころ：亜高山帯の鳥と植物の旅。お勧めはホシガラスやイワヒバリ。いい鳥見た後はコケモモ酒で乾杯。

埼玉野鳥情報

- カイツブリ ◇3月3日、浦和市の白幡沼で巣作りを始める（海老原美夫）。
- コハクチョウ ◇3月12日、熊谷市の荒川大橋上流で7羽（小谷野勝栄）。
- ヨシガモ ◇3月2日、狭山湖で♂1羽。他にミコアイサ♀1羽。カワアイサ♂1羽♀3羽も観察する（中村 治）。
- オカヨシガモ ◇3月22日午前7時、本庄市の阪東大橋下流で58羽（町田好一郎）。
- オオタカ ◇2月11日、本庄市の阪東大橋下流上空で1羽。チョウゲンボウと空中戦（井上幹男）。
- ハイタカ ◇3月23日、阪東大橋下流で♂1羽。カラスに追われ上空高く飛んで行く（井上幹男）。
- ノスリ ◇2月11日、本庄市の阪東大橋下流上空で2羽（井上幹男）。
- ハイイロチュウヒ ◇2月4日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽（井上幹男）。
- チュウヒ ◇2月25日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽。河川敷の小木に止まっていたが、しばらくすると対岸に飛んでいった（井上幹男）。
- コチョウゲンボウ ◇3月14日、本庄市の上武大橋下流で♂1羽。低空で飛びまわり、上流の方に飛んで行く。3月21日にも同所で♂1羽観察する（井上幹男）。
- チョウゲンボウ ◇戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で♂1羽（高橋達也）。
- タゲリ ◇3月10日、羽生市の利根川河川敷で15羽。昨年11月末より越冬（柿沼義包）。



- コミミズク ◇3月12日、浦和市の見沼代用水付近で1羽（浅沼源太郎）。
- オオコノハズク ◇桶川市川田谷で1羽。城山公園内の巣箱を1月から寝ぐらに利用。（3月11日付、埼玉新聞）
- ◇3月5日、岩槻市の慈恩寺裏の墓地付近の木にとまっていた（岩槻市・吉村）。
- アリスイ ◇3月21日午前11時、本庄市の阪東大橋下流で1羽。アシ原の中の立木にいるウグイスを見ているとアリスイが見えてビックリノ 再度確認し、カメラを向けたらいなかった。残念!!（井上幹男）
- ツバメ（初認） ◇3月11日、浦和市のサギ山記念公園付近で1羽。◇3月17日、富士見市の柳瀬川で1羽（吉田二三子他2名）。◇3月20日、本庄市の阪東大橋下流で1羽。（町田好一郎）。◇3月24日、朝霞市の北朝霞駅前の電線上に2羽。「土喰って虫喰ってじゅー」と鳴いていた（藤原寛治）。
- イワツバメ（初認） ◇3月10日、熊谷市の三ヶ尻セメント工場上空で7羽（山口輝雄）。◇3月11日、浦和市のサギ山記念公園付近で1羽（近藤 崇）。◇3月13日、朝霞市の北朝霞駅前で1羽（藤原寛治）。
- オオモズ ◇3月23日午後4時30分、本庄市の阪東大橋下流の牧草地の枯枝で1羽。ホバリングしながら、しきりに何かをあさっていた。白斑と尾の外側の白がはっきり確認できた。となりにとまったヒヨドリよりほんの少しだけ小さめな感じだった（町田好一郎）。
- ヒレンジャク ◇3月6日午後4時30分、本庄市の阪東大橋下流の新芽の吹き出し始めたネコヤナギの枝で1羽。サーッととまってフルターンノ その時の尾先の朱がアザカカ!! 3月16日、同所付近のニセアカシアの枝に5羽（町田好一郎）。
- トラツグミ ◇3月2日、大宮市日進町で1羽（森本國夫）。◇3月11日午前5時頃、入間郡大井町西鶴ヶ丘の自宅近くで鳴く（林弥生子）。
- アカハラ ◇2月20日、日高町の巾着田で2羽（西村光雄）。
- ノハラツグミ ◇2月26日、浦和市南部領辻

の野田小学校近くの見沼田んぼで1羽(倉成英昭、巢瀬 司)、3月29日現在、継続観察中。

ウグイス(初鳴き) ◇2月27日午前6時10分、北本市の自宅庭で上手に鳴いているのをフトンの中で聞く(吉原俊雄)。◇3月2日、大宮市日進町で(森本國夫)。◇3月3日、浦和市鹿手袋で(海老原美夫)。◇3月3日、浦和市本太で(藤野克裕)。

キクイタダキ ◇2月26日、浦和市秋ヶ瀬C区で2羽。シジュウカラの群れと一緒に行動していた(石井 智)。

ムギマキ ◇2月19日、神川町青柳地区の山林で1羽。(3月12日付、埼玉新聞)その後同町の金鑽神社で継続的に観察された。

ホオジロ(部分白化) ◇2月25日午後2時頃、本庄市の阪東大橋下流のアシ原の小枝に1羽。小雨に打たれてシズクを含んだ白い頭部が印象的であった。昨年、一昨年と観察された個体と同じ個体と思われる(町

田好一郎)。

コジュリン(夏羽) ◇2月13日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷でほぼ夏羽の♂1羽(高橋達也)。◇2月22日、日高町の巾着田で♂1羽(西村光雄)。

オオジュリン(夏羽) ◇2月18日、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽(井上幹男)。

◇2月23日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で♂1羽(高橋達也)。

アトリ ◇2月18日、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽。車の中からカモ類を見ていたら、車の前に現われてビックリノ(井上幹男)。

ベニマシコ ◇3月3日、本庄市の阪東大橋下流で♂2羽(井上幹男)。

イカル ◇2月22日、日高町の巾着田で1羽(西村光雄)。

ウソ ◇3月4日、秩父市の羊山公園で♂1羽(山岸昭治)。

ムクドリ(ねぐら) ◇上尾市上町の遍照院で約3千羽のねぐら(浅見和夫)。

【5月のみどころ】

初夏のさわやかな風によって、夏鳥達の歌声が流れてくる5月となりました。私は野山が小鳥達のさえずりであふれかえるようなこの季節が一番好きです。この時期は、やはり軽井沢や奥日光などに出かけることをお勧めします。オオルリやキビタキなど県内では秩父の方へ行かなければ滅多に会えない夏鳥達の姿やさえずりにきっと魅了されることと思います。

私の憧れの鳥の一つにタマシギという鳥がいます。鳥の世界では珍しくメスの方がオスより美しいという鳥です。それもそのはずで、メスは卵をうむだけで、抱卵しヒナを育てる

表紙の写真

私が初めてサシバを見たのは、この写真を撮影した湿地でした。ワシタカと思われる茶色の鳥が、地上から飛び立ったのですが、その頃の私には識別出来ませんでした。数年後その場所はサシバが獲物を求めてよく出現す



(矢作亮太郎)

ウグイス

のはオスの役目なのです。いわゆる専業主夫というやつでしょうか。このタマシギが去年の連休中に浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地でうがいが観察され、しばらくいたそうですが、心ないカメラマンによって追いはらわれてしまったと聞きます。自分さえよければという風潮はバードウォッチングの世界には入ってきてほしくないものです。今年はタマシギは来てくれるでしょうか。(藤原寛治)

バードフォトコンテスト入選作

サシバ(ワシタカ科)

ことを知り、あのと看見たのはサシバだったと今でも信じています。サシバがいろいろな生態を見せてくれたこの湿地、今は産業廃棄物の下に葬り去られ、サシバは姿を消したのです。(写真と文・市川計彦=川越市)

行事あんない



第43回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」 野鳥の写真・イラスト・カーピング展

共催：埼玉県

写真の部

期間：4月17日（月）～5月14日（日）

場所：JR大宮駅コンコース

内容：会員の作品60点を一挙に展示します。

イラストとカーピングの部

期間：5月11日（木）～5月15日（月）

午前9時～午後7時（初日は午後から、
最終日は午後6時まで）

場所：大宮駅西口ソニックシティ27階
セキスイハウスハウジングギャラリー
SHIC27（入場無料）

内容：イラスト（高橋正美・比企裕・渡辺敦）
もカーピング（山岸昭治）も、すばら
しい作品がそろいました。

5月7日の探鳥会は、第43回愛鳥週間
「全国野鳥保護のつどい」一斉探鳥会と
して、埼玉県の後援で行なわれます。参
加費は必要ありません。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：5月7日（日）

集合：午前9時 本庄駅北口

（その後現地までバス利用）

交通：高崎線大宮7:42発→本庄8:49着

解散：午後1時ごろ

担当：北川慎一、林滋、町田好一郎、榎本秀
和、諏訪隆久、岡安征也

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。

探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記
用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼
鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び
中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。
特別な場合を除いて予約申込みの必要はあり
ません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物
を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻
やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。
いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

見どころ：コアジサシ、川面にきらめく初夏
の飛翔。運が良ければツバメチドリも。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：5月7日（日）

集合：午前8時45分 蓮田駅東口

（その後現地までバス利用）

交通：東北本線浦和8:13発→大宮8:19発
→蓮田8:29着

解散：午後1時ごろ

担当：中島康夫、石川敏男、小林、浅田

見どころ：春泥にただずむムナグロの群。ゆ
らめく陽炎のその向こうで、金色の夏
羽が輝きます。

浦和市・見沼探鳥会

期日：5月7日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または

午前9時 浦和市立郷土博物館前

（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

担当：楠見邦博、森本國夫、渡辺周司、草間
和子、手塚正義

見どころ：いつもの三室探鳥会とは違ったコ
ース 昨日までは名も知らなかった鳥
たちが、今日からはちょっと気になる
友人です。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：5月7日（日）

集合：午前9時 東武越生線川角駅前

交通：川越線大宮7:35発→川越7:54着、
東武東上線乗り換え、8:00発急行→
坂戸8:14着、越生線乗り換え、8:35
発→川角8:44着

解散：午後2時ごろ

担当：福井恒人、藤原寛治、黒田佳子、長谷
きみ子、登坂久雄

見どころ：これまたいつもと違ったコース
春色をくっきり映す川べりで、またひ
とつ新たな思い出を。

栃木県・箒川と千本松探鳥会

期日：5月13日（土）

集合：午前7時 大宮駅中央改札口前

交通：東北本線大宮7:16発快速ラビット号
→宇都宮8:18着、同駅8:38発に乗り
継ぎ、野崎9:13着

費用：移動の際のバス・タクシー代も各自

解散：千本松にて午後4時ごろ

担当：中島康夫、楠見邦博

見どころ：チョウゲンボウ団地、拝見。「ど
こんちも子育てはたいへんだなァ」と
思わずつぶやいてしまうあなた。あな
たの心はもはや鳥たちと一体です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月14日（日）

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:00発→大麻生9:10
着 / 秩父鉄道寄居8:52発→大麻生
9:10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、鈴木忠雄、林滋、岡安征也、
町田好一郎

見どころ：川面に初夏の風、川原に夏の鳥。
ユリカモメに代わって、ツバメやコア
ジサシが飛びかう大麻生。

長野県・軽井沢探鳥会

期日：5月20日（土）夜行～21日（日）

集合：21日午前3時 軽井沢駅前

交通：信越本線急行妙高上野20日23:58発→
大宮0:26発→熊谷1:05発→軽井沢
2:58着。各自、最寄り駅より乗車。

費用：ククシー代若干をご負担願います。

注意：弁当は朝・昼の二食用意してください。

解散：21日、現地にて午後2時ごろ。

担当：中島康夫、藤原寛治、榎本秀和、諏訪
隆久

見どころ：森の目覚め、夜明けのコーラス。
今時なかなか味わえない真の闇。やが
て空が白み始めた頃、森のそこそこで
小鳥たちのさえずりが始まります。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：5月21日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井、渡辺、乗田、手塚

見どころ：新緑にそまる旅の途中の小鳥たち。
緑鮮やかな川辺や野道で、幼い頃の思
い出を追体験。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月27日（土） 午後1時～3時ごろ

会場：支部事務局（浦和駅西口徒歩約5分）

案内：最近新しい顔ぶれが増えています。

野鳥写真クラブ定例会

とき：5月27日（土） 午後3時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ。

案内：袋づめのあとのお楽しみがこれ。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：5月28日（日）

集合：午前8時 高崎線上尾駅西口

または8時30分 丸山公園北駐車場
（上尾駅の場合、その後バス利用）

交通：高崎線大宮7:42発→上尾7:51着

解散：午後1時ごろ

担当：乗田実、赤瀬征雄、岡安征也

見どころ：おすましカワセミ君、待っててね。
すっかり定着した丸山公園探鳥会。

（5ページも御覧ください。）

行事報告

2月19日(日) 浦和市 三室地区

人 45人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ
カルガモ コガモ オナガガモ オオタカ
コジュケイ タカブシギ イソシギ タシギ
キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハ
クセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒ
ヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジ
ュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カ
ケス ハシボソガラス ハシブトガラス (32
種) 足元には、ホトケノザ オオイヌノフグ
りの花が咲き、斜面林では木の芽がふくらみ、
春。その斜面林の上空には、ここの探鳥会で
は初めてのオオタカが出現した。

2月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 青沼俊雄、伊藤芳晴、
岩波勇一、榎本秀和、海老原教子、海老原美
夫、塩野谷静子、鈴木秀男、諏訪隆久、高橋
夕香子、藤野富代、吉田二三子、渡辺敦、渡
辺孝章、渡辺嘉男 (15人) 袋づめの会も写真
クラブ定例会も良いけれど、その後を目当て
の人が最近多いらしいですよ。

2月25日(土) 写真クラブ定例会

集まった人 18人 作品発表した人 5人



オジロビタキ (渡辺敦: 羽村町)

2月26日(日) 滑川町 森林公園

人 23人 天気 晴 鳥 カイツブリ オシ
ドリ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ
ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ トビ
コジュケイ キジバト アオゲラ コゲラ
ハクセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ
ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグ
ミ ウグイス キクイタダキ エナガ シジ
ュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクド
リ カケス ハシボソガラス ハシブトガラ
ス (37種) 前日までの大雨が嘘のように晴れ
上がり、これもメインリーダーの信心の賜物
と参加者一同で感謝した。全員が期待のルリ
ビタキはいつもの場所で現われ、春が近いの
か、カモたちには羽ばたきの練習が見られる。
ここで飼われているコクチョウのヒナを楽し
めたが、本来日本の鳥ではないため自分が繁
殖をするために野生のカモを追散らしていた
事実を一考しなければならない。

2月26日(日) 浦和市 さぎ山記念公園

人 10人 天気 晴 鳥 カワウ コサギ
ノスリ タカ SP コジュケイ シラコバト
キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビ
タキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホ
オジロ カシラダカ アオジ オオジュリン
カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシ
ボソガラス ハシブトガラス (27種) 直前ま
での雨天から、急速に天候が回復していい天
気。オオタカと思われる個体やここの名物で
あるノスリも指定席の鉄塔に現われた。同じ
日に我々の歩いたコースのほんの少し先で、
あのノハラツグミ! が発見されたということ
を後で知った。ほんのちょっとの差で、埼玉
県初記録の鳥に会えた! なんてことになって

いたかもしれなかった訳だ。残念でした。

3月11日(土) 神奈川県 城ヶ島

人 16人 天気 晴 鳥 ミズナギドリSP
ウミウ ヒメウ クロサギ トビ コジュケイ
イ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ
オオセグロカモメ シロカモメ ウミネコ
ミツユビカモメ ハクセキレイ タヒバリ
ヒヨドリ モズ イソヒヨドリ ツグミ ウ
グイス メジロ ホオジロ アオジ スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス
(27種) 潮風の中で過ごした、のどかな一日。
赤羽根海岸には、磯辺の御三家ーウミウ、ヒ
メウ、クロサギが勢ぞろい。カモメ類もいろ
いろ現われ、識別の勉強になった。足元には
タンポポやスマイル。分厚いジャケットのかわ
りに、春の草花の図鑑を持ってくればよかつた。

3月12日(日) 荒川村 日野溪谷

人 20人 天気 晴 鳥 トビ オオタカ
ハイトカ コジュケイ キジバト コゲラ
キツツキSP ヒバリ キセキレイ セグロ
セキレイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ カ
ヤクグリ ジョウビタキ ツグミ ウグイス
クイタダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダ
カ アオジ アトリ カワラヒワ シメ ス
ズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス
ハシブトガラス (34種) 1000羽位のアトリが、
こちらの峰からあちらの峰へと右往左往。そ
れをねらうオオタカがうろうろ。溪谷ではミ
ソサザイが美声を響かせ、カヤクグリもチリ
リリリ。

3月12日(日) 熊谷市 大麻生

人 66人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイ
サギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ
カルガモ コガモ オナガガモ トビ オオ
タカ ノスリ コジュケイ キジ イカルチ
ドリ クサシギ イソシギ キジバト カワ
セミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバ
リ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ

ウグイス セッカ エナガ シジュウカラ
メジロ ホオジロ カシラダカ カワラヒワ
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス (44種) 来るわ、来
るわで参加者が66人。出るわ、出るわで出現
鳥が44種。春めいてきた大麻生が、バードウ
ォッチングの楽しみは、遠い有名探鳥地へ出
かけ、珍鳥を追いかけるだけではないことを
教えてくれた。この日、まだ大麻生には自然
が残っていることが確認された。この自然を
参加者とともに守り続けたい。

3月21日(火) 秩父市 羊山公園

人 64人 天気 晴 鳥 コサギ オオタカ
コジュケイ キジバト コゲラ ヒバリ イ
ワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグ
ロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ
ツグミ ウグイス エナガ ヒガラ シジュ
ウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ ア
オジ アトリ カワラヒワ マヒワ ウソ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス (31種) 実はウソがいないと
地元の会員も言うし、リーダーとしてはほと
んどあきらめていたのですが、参加者たちの
執念! ついにウソを見つけてしまったのです。
マヒワの黄色も、ジッツにアザヤカでした。

3月26日(日) 坂戸市 高麗川

人 33人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサ
ギ マガモ カルガモ コガモ トビ タカ
SP コジュケイ キジ バン イカルチド
リ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ
ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シ
ジュウカラ ホオジロ アオジ オオジュリ
ン カワラヒワ イカル シメ スズメ ム
クドリ オナガ ハシボソガラス ハシブト
ガラス (38種) 前日の強風もおさまり、良い
天気にも恵まれた。お目当てのヤマセミは、朝
は姿を見せたようだが、探鳥会では現われて
くれなかった。でも、イカルやカワセミに会
えたし、旅立ち間近なジョウビタキにもお別
れの挨拶ができたし、十分楽しんだ。



会員数がついに1,000名に

支部創立5周年(4月24日)を目前に、3月20日現在の会員数がピタリ1,000名になりました(4月号既報)。本部のオフコンに登録されている数に支部で独自に管理しているジュニア会員の数をくわえた合計で、全く掛値なしの実数です。1,000人目の会員は、寄居町の町口浩司さん(20才・大学生)。記念品をお送りしました。

埼玉県内の全人口は600万人以上。つまり会員はその0.017%。まだまだ増える余地がタップリあるということです。

関東ブロック協議会に出席

4月1日(土)午後、神奈川県横須賀市の観音崎青少年の村で開催された関東ブロック協議会には、関東地区の8支部と本部から合計31名が集まり、調査・研究・保護活動を中心に夜遅くまで率直な意見交換が続きました。当支部からの出席者は、海老原美夫副支部長と横山みどり幹事の2名。翌2日(日)の城ヶ島合同探鳥会に合流した様子は、行事報告のページのとおりです。

ネームプレート新発売

従来の会員証+名札入れに代わる新しいネームプレートが売り出されました。パールホワイトの地に青のシンボルマーク、もちろん各自の名前が黒々ときっちり彫り込んであるすてきなものです。1個900円。名前の彫り込みには約1カ月時間がかかります。お早めにお申し込みください。

もし支部報が届かなかったら

毎月袋づめの会の翌々日の月曜日に郵便局から発送しています。それなのになかなか届かないということがありましたら、すぐ事務局にご連絡ください。

いつも本部のオフコンが打ち出すラベル紙を封筒にはってお送りしているのですが、いちいち会員名簿と照合はできません。

ですから、大変少ないのですが、万一のミスがないとはいえません。ご連絡いただければすぐに調べます。どうぞよろしく。

ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。

浦和のノハラツグミ 5,200円、齊藤樹 1,000円、馬場友里恵 10,000円、藤野富代=ゴミ箱など、逸見嶮 100円、横山みどり 300円、若松淳平=保温ポット。

(いずれも50音順、敬称略)

会員数は

4月20日現在1,025人です。

活動報告

- 3月13日 バードソンスポンサーの件につき、アズ熊谷・吉村営業部長に面会(海老原)。
- 3月15、16日 パネル展など打ち合わせ。
- 3月19日 役員会議(司会:榎本秀和、関東ブロック会議、消費税、その他)。
- 3月25、30、31日 事業部期末棚卸など。
- 3月27日 4月号校正(大武昭雄、森本國夫)。



2月19日は、三室探鳥会へ5名、阪東大橋探鳥会へ5名、本部の評議員会へ3名、それに個人的に依頼を受けた柳瀬川探鳥会と越谷探鳥会へ6名と4名、計23名がリーダー等として活躍した。5年前の支部発足当時を考えると、まさに隔世の感がある。そのころは、NさんやEさんが毎日のようにリーダーをつとめ、他に数人の人が交替で出ていたようだ。支部の力が大きくなったことを実感します。編集部もがんばらねば……。 (山部直喜)

『しらこぼと』1989年5月号(第60号)

定価 100円(会費に含まれます)

発行人 今井昌彦

編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部

☎ 048(832)4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)